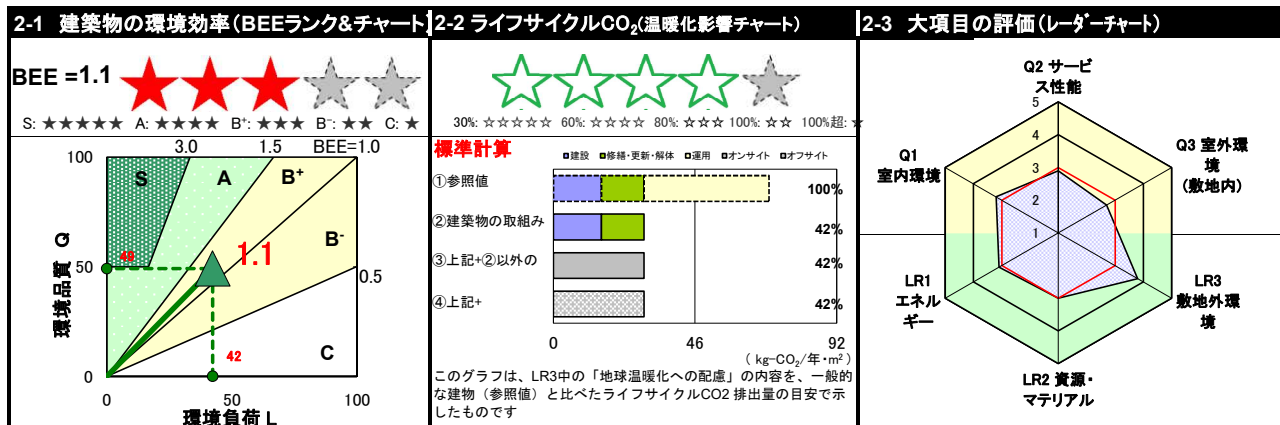


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

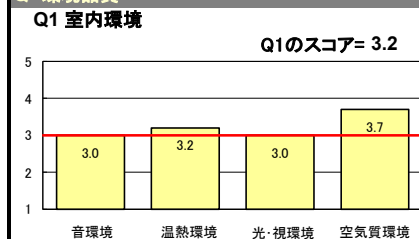
■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追加版 使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)スターゼン㈱伊丹営業センター新築工事	階数	地上2F	
建設地	兵庫県伊丹市鑄物師五丁目6番1	構造	S造	
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	80 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年5月16日	
敷地面積	6,998 ㎡	作成者	吉見岳	
建築面積	3,741 ㎡	確認日	2024年5月16日	
延床面積	4,465 ㎡	確認者	吉見岳	

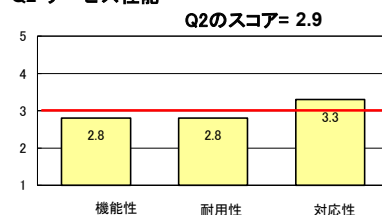


2-4 中項目の評価(バーチャート)

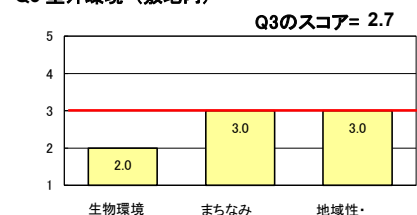
Q 環境品質



Q2 サービス性能

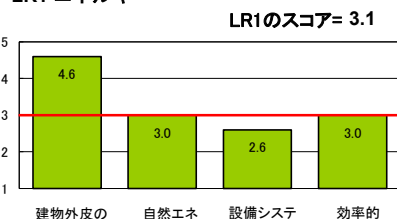


Q3 室外環境（敷地内）

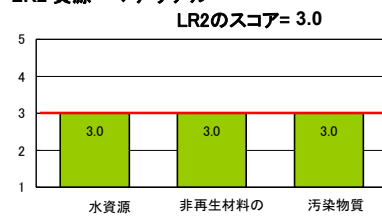


LR 環境負荷低減性

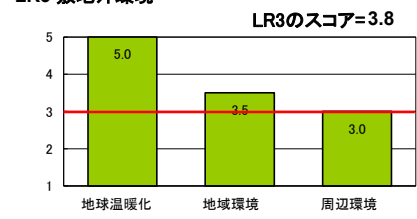
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

省エネルギー性の高い外皮及び設備を搭載した建築物であるだけでなく、敷地境界線を越えて地球環境に及ぼす影響を低減する取組を行うことで、環境負荷低減性に優れた建築計画となるよう配慮した。

その他

特になし

Q1 室內環境

ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。

Q2 サービス性能

高い階高と天井高さを有している。

Q3 室外環境（敷地内）

緑化を多く有して、まちなみへの配慮もしている。

LR1 エネルギー

建築外皮の性能や、建築物の設備における省エネルギー対策について配慮することで、建物外皮の熱負荷抑制・設備システムの高効率化を行い、建築物を運用する際に発生するエネルギー消費を低減させた。

LR2 資源・マテリアル

LGS下地、OAフロアを採用している。

LR3 數地外環境

駐車スペースの設置計画を行っている。広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される